

## 第3回産学官連携サミット パネルディスカッション

---

しばた まさはる  
**柴田 昌治** 日本ガイシ会長

「新技術で市場を拓く」

### 1. 日本ガイシの事業展開

1919年、電力用ガイシの国産化に成功した日本陶器（現ノリタケ）からガイシ専門メーカーとして分離独立。世界トップレベルのセラミック技術をベースに、事業の多角化と国際化を積極的に推進。

現在、電力関連、セラミックス、エンジニアリング、エレクトロニクスの4事業を展開。すべてセラミックスが共通の事業基盤。

### 2. 日本ガイシの新製品・開発品

セラミックスの材料と製造に関する高い技術力を活かせる新製品開発に特化。

セラミックスの機能性と当社の材料・製造技術を組み合わせたマイクロセラミックス、多孔質セラミック材料の微細構造の制御技術を活かしたセラミックフィルターなどに注力。

### 3. 日本ガイシの研究開発方針

事業領域はエネルギー、エコロジー、エレクトロニクスの「トリプルE」、基本方針は「戦略的成長」。研究開発型企業を目指して、新製品や新事業による成長を図る。

コアテクノロジーのセラミックスにこだわり、経営資源の選択と集中により、世界での競争に勝てる強い技術を開発。各分野で世界 1か 2を目指す。

研究開発は製造業の生命線。業績に関わらず高水準の研究開発投資を維持。

### 4. 日本ガイシの研究開発戦略

新しい市場を創り出す、ニーズ創出型の研究開発を目指す。

業界 1の強い顧客との共同開発など、ユーザー企業と密着した研究開発を推進。

各分野でアライアンスを強化し、研究開発のスピードアップを図る。